



平成21年3月1日発行

こんちわ奥さん



大丸エナウイン株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022

大阪市住之江区緑木1-4-39

TEL.06 (6685) 5101

ファクス 0120-093-025

URL http://www.gas-daimaru.co.jp



千昌夫の「北国の春」の歌詞に出てくるコブシ(辛夷)はモクレン科の高木で、早春、他の木に先駆けて大きな白い花を咲かせます。歌が大ヒットしたせいか、北国の花というイメージがあります。街路樹にもなっていて、都会でも季節を感じさせてくれます。

田打ち桜、種まき桜などと呼ばれる地方があるのは、昔、この花の開花から農作業の開始時期を判断したためです。コブシという名の由来は「握りこぶし」。蕾が開く前の形が幼児の握りこぶしに似ているから、また、果実がデコボコで握りこぶしのようだから、という2説があります。漢字表記の「辛夷」は、中国ではモクレン(木蓮)を指します。



江戸時代の花見はまた華やかな社交でもあり、人々はそれなりに贅を尽くした用意で出かけました。落語の『長屋の花見』では、タクワンを玉子焼き、お茶を酒に見立てました。金がない

酔っ払いが、くだらないことをくどくど言う様子を「くだを巻く」と表現します。これは織物からきた言葉です。「くだ」は糸繰り車の中心にある軸のことで、くだに糸を巻く作業が延々と続くこと、また、その音がブウブウということから、酔っ払いの繰言に譬えました。花見とは、咲き誇る桜の下での酒宴ですが、酔ってくだを巻いては興ざめです。

江戸時代の花見は現在と少し違っていました。電車も自動車もない時代、人々は歩いて花見にでかけました。つまり、運動を兼ねた小旅行であったわけですから、昭和の50年代頃まで、会社の慰安旅行のことを運動会といっていました(大阪だけかもしれません)。江戸時代の運動を兼ねた花見を思わせます。

花見・春と昔 竹の皮と金箔



くても見栄を張って贅沢したいのが花見だったようです。裕福な商人は贅沢な料理を高価な容器に入れてでかけました。

そんな花見の席に、ある高名な絵師が出かけました。手にしていたのは竹の皮に包んだ握り飯だけ。

人々は、高名な絵師が野暮なことを、と思いましたが、ところどころ、絵師が竹の皮を開くと、その内側には金箔が貼られていました。粗末な竹の皮と内側の金箔。この対比は見事であり、これほど粋なやり方も少ないのではないのでしょうか。しかも絵師は握り飯を食べ終わると、その竹の皮を惜しげもなく投げ捨てたといわれています。花見で酒を飲んで「くだを巻く」とは大違い。現代の花見は、飲食とカラオケの馬鹿騒ぎとなっているようです。紹介した絵師のようでありたいものです。

奥さん、大丸エナウインの株主になりませんか!

★株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在、1,000株以上所有の株主様へ選択型ギフト券をお贈りしております。各地の名店、名産品の食品等掲載のカタログから1点選択いただけるものです。(100株~999株所有の株主様へは図書カードを贈呈)株主様へは、配当に加えて株主優待でお楽しみいただいております。

カタログ掲載商品の一例

※年により一部商品が変更される場合があります。

〈株価指標〉

直近株価 544円(平成21年2月2日東証終値)
 予想利回り 2.02%(配当11円、株価544円と仮定)

〈基本データ〉

(売買単位)100株 (上場市場)東証2部、大証2部
 (証券コード)9818(株式の銘柄ごとに割当された番号)

↑ 証券会社へ売買注文する時や株価検索する時に便利

(新聞株価欄の業種) 商業

(配当状況<1株当たり>)
 平成20年3月期配当実績 11円(うち、中間配当5.5円)
 平成21年3月期配当予定 11円(うち、中間配当5.5円)

(株主優待制度)

毎年3月31日現在の株主様へ下記の基準で贈呈
 100株以上1,000株未満ご所有…図書カード1枚(500円相当)
 1,000株以上ご所有…3,500円程度の選択型ギフト券

大丸エナウインの株式に関するお問い合わせ先…総務部 株式課